

Paisley Tubby Effects / Paisley Vibra Fuzz

ペイズリータビーエフェクツ / ペイズリーヴィブラファズ

■特徴

- ・Shin-Ei制作のPsychedelic Machine (Super Fuzz + Uni-Vibe)を再現
- ・大型のユニットを現代的なサイズに凝縮
- ・当時の音色を再現しながら操作性を向上

知名度 低 |-----●-----| 高

マニア度 低 |-----●-----| 高



定価: オープンプライス

JANコード: 4562459871243

※価格、その他商品に関するご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

■ブランド紹介

Paisley Tubby Effects は、特にサイケデリックな効果を持つヴィンテージエフェクトをはじめ、クラシックなエフェクトの多くを愛し、そのサウンドを再現したり、さらにパワーアップさせたペダルを制作しています。

ハイクオリティコンポーネンツを使用し、手作業で制作しています。全ての制作はビルダーのレオンによって行われます。

トゥルーバイパス、DC パワージャック、ブライツLED を装備し、コンパクトなサイズで作られます。

■商品説明

Paisley Vibra Fuzzは、Honey Psychedelic Machineをベースに改良を重ねて完成したコンパクトエフェクターです。

オリジナルモデルは巨大なエフェクトユニットでしたが、Paisley Vibra Fuzzはそれを現代的で分かりやすい使用感、操作性を持つコンパクトペダルに作り変えました。オリジナルモデル同様、オールドスクールなヴァイブエフェクトとクラシックで爆発力のあるファズサウンドの両方の側面を持つペダルに仕上がりました。

●Psychederic Machine

Paisley Vibra Fuzzのアイデアは、オリジナルモデルを入手したことがきっかけで生まれました。

オリジナルHoney Psychederic Machineは、他にElectra、Companionなどのブランド名義でも販売されました。どれも非常にレアなヴィンテージエフェクトです。

内部の全ての回路はShin Eiが制作。RT-18 Resly Toneの回路を使用したモジュレーションとSuper Fuzzをベースとしたファズの2つの回路が組み合わさっています。

Shin-Ei RT-18の回路は有名なUni-Vibeと基本的に同じで、RT-18の6ポジションロータリースイッチを使用したスピードコントロールがUni-Vibeではポテンショメータ/フットコントロールに置き換えられています。

Fuzzセクションは、Expander (Gain) コントロールを無くし、ゲインを固定化したSuper Fuzz回路です。

オリジナルPsychedelic Machineはストップボックスではなく、アンプヘッドのようなユニットです。フットスイッチでFuzzとMood (RT-18セクション) それぞれのジャックとDirect (バイパス)、Fuzz、Mood、Mood & Fuzzのオプションを選択することができました。

オリジナルHoney Psychedelic Machine最大の欠点は、両方の回路を1つのVolumeコントロールで制御しようとしたことです。もともとMoodセクションはFuzzセクションの半分以下の音量しか作ることができず、上手くバランスを取るのが至難の業でした。

その後に発売されたCompanion名義のPsychedelic Machineではそれぞれの回路に独立したVolumeコントロールが付けられ、FuzzセクションにはFuzzコントロールが取り付けられました。

●オリジナルPsychedelic Machineを超えて

Paisley Vibra Fuzzは、オリジナルPsychedelic MachineがHoneyからCompanionへと行われた改良だけでなく、RT-18からUni-Vibeへの改良点は全て取り入れた上で、さらにより扱いやすく改良を施しています。

オリジナルモデルの6ポジションのRepeat Timeロータリースイッチは取り外し、Uni-Vibeと同様のポテンショメータを用いたSpeedコントロールへと改良。フットコントロールにも対応します。分かりにくいRepeat Time表記はSpeed表記へと改めました。

そしてファズセクションとモジュレーションセクションのそれぞれにVolumeコントロールを搭載し、FuzzセクションにはゲインをコントロールするExpanderコントロールを設けました。

●さらに改良を重ねて

2009年に完成した最初のPaisley Vibra Fuzzは、コンパクト化したとはいえ、まだコンクリートブロックのようなサイズでした。さらに回路を見直し、カオスなスパゲティのようだった配線もすっきりとまとめ上げることができました。2012年、よりコンパクト化され、一般的なコンパクトエフェクトと同等のサイズになったPaisley Vibra Fuzzが完成したのです。

※文章・画像を許可なく複製、転載することはご遠慮ください。

制作 LEP INTERNATIONAL

総販売元 キョーリツコーポレーション